

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年6月16日(2011.6.16)

【公開番号】特開2009-261766(P2009-261766A)

【公開日】平成21年11月12日(2009.11.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-045

【出願番号】特願2008-117125(P2008-117125)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月27日(2011.4.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技に関する主な制御を行う主制御手段と、その主制御手段から送信されるコマンドに基づいて前記遊技に関する周辺制御を行う周辺制御手段とを備える遊技機において、

前記主制御手段は、

前記周辺制御手段へ送信する前記コマンドを設定するコマンド設定手段と、

そのコマンド設定手段により設定されたコマンドを前記周辺制御手段へ送信する送信手段と、

前記遊技の状態を示す遊技状態情報を前記周辺制御手段へ送信する遊技状態情報送信手段とを備え、

前記周辺制御手段は、

前記送信手段により送信されたコマンドを受信するコマンド受信手段と、

前記遊技状態情報送信手段により送信された前記遊技状態情報を受信する遊技状態情報受信手段と、

その遊技状態受信手段により受信された遊技状態情報が示す遊技状態と、前記コマンド受信手段により受信したコマンドとに基づいて、そのコマンドが正常な遊技状態の下で前記コマンド設定手段によって設定されたかを判定するコマンド判定手段と、

そのコマンド判定手段により、前記コマンド受信手段により受信したコマンドが異常な遊技状態の下で設定されたと判定された場合に、そのコマンドによる周辺制御を禁止する禁止手段を備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記遊技に使用される遊技媒体が入賞する入賞口と、

その入賞口への前記遊技媒体の入賞を検出する入賞検出手段とを備え、

前記コマンド設定手段は、その入賞検出手段により遊技媒体の入賞が検出された場合に、その検出された入賞に応じた数の遊技媒体の払い出しを前記コマンドによって指示する払出指示手段を備え、

前記周辺制御手段は、前記払出指示手段による遊技媒体の払い出しを指示するコマンドに基づいて、遊技媒体の払い出しを実行する払出実行手段を備え、

前記禁止手段は、前記払出指示手段による遊技媒体の払い出しを指示するコマンドが、異常な遊技状態の下で設定されたと前記コマンド判定手段によって判定された場合に、前

記払出実行手段による遊技媒体の払い出しを禁止する払出禁止手段を備えていることを特徴とする請求項1記載の遊技機。

【請求項3】

前記入賞検出手段により遊技媒体の入賞が検出された場合に、所定の遊技価値を付与するかを抽選する抽選手段と、

その抽選手段によって所定の遊技価値が付与される結果となり、その結果に基づいて所定の遊技価値が付与された場合に、前記遊技媒体の入賞が可能となる特別入賞口と、

その特別入賞口への遊技媒体の特別入賞を検出する特別入賞検出手段とを備え、

前記払出指示手段は、前記特別入賞検出手段により遊技媒体の特別入賞が検出された場合に、その検出された特別入賞に応じた数の遊技媒体の払い出しを前記コマンドによって指示するものであり、

前記遊技状態情報送信手段は、前記所定の遊技価値が付与されている期間中、前記遊技状態情報を前記周辺制御手段へ送信するものであり、

前記払出禁止手段は、前記払出指示手段により指示されたコマンドが、前記所定の遊技価値が付与されない遊技状態の下で設定されたと前記コマンド判定手段によって判定された場合に、前記払出実行手段による遊技媒体の払い出しを禁止するものであることを特徴とする請求項2記載の遊技機。

【請求項4】

前記周辺制御手段は、前記コマンド受信手段により受信されたコマンドが、異常な遊技状態の下で設定されたと前記コマンド判定手段によって判定された場合に、そのコマンドを無効化する無効化手段を備えていることを特徴とする請求項1から3のいずれかに記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項2記載の遊技機は、請求項1記載の遊技機において、前記遊技に使用される遊技媒体が入賞する入賞口と、その入賞口への前記遊技媒体の入賞を検出する入賞検出手段とを備え、前記コマンド設定手段は、その入賞検出手段により遊技媒体の入賞が検出された場合に、その検出された入賞に応じた数の遊技媒体の払い出しを前記コマンドによって指示する払出指示手段を備え、前記周辺制御手段は、前記払出指示手段による遊技媒体の払い出しを指示するコマンドに基づいて、遊技媒体の払い出しを実行する払出実行手段を備え、前記禁止手段は、前記払出指示手段による遊技媒体の払い出しを指示するコマンドが、異常な遊技状態の下で設定されたと前記コマンド判定手段によって判定された場合に、前記払出実行手段による遊技媒体の払い出しを禁止する払出禁止手段を備えている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項3記載の遊技機は、請求項2記載の遊技機において、前記入賞検出手段により遊技媒体の入賞が検出された場合に、所定の遊技価値を付与するかを抽選する抽選手段と、

その抽選手段によって所定の遊技価値が付与される結果となり、その結果に基づいて所定の遊技価値が付与された場合に、前記遊技媒体の入賞が可能となる特別入賞口と、その特別入賞口への遊技媒体の特別入賞を検出する特別入賞検出手段とを備え、前記払出指示手段は、前記特別入賞検出手段により遊技媒体の特別入賞が検出された場合に、その検出された特別入賞に応じた数の遊技媒体の払い出しを前記コマンドによって指示するものであり、前記遊技状態情報送信手段は、前記所定の遊技価値が付与されている期間中、前記遊技状態情報を前記周辺制御手段へ送信するものであり、前記払出禁止手段は、前記払出指示手段により指示されたコマンドが、前記所定の遊技価値が付与されない遊技状態の下で設定されたと前記コマンド判定手段によって判定された場合に、前記払出実行手段による遊技媒体の払い出しを禁止するものである。

請求項4記載の遊技機は、請求項1から3のいずれかに記載の遊技機において、前記周辺制御手段は、前記コマンド受信手段により受信されたコマンドが、異常な遊技状態の下で設定されたと前記コマンド判定手段によって判定された場合に、そのコマンドを無効化する無効化手段を備えている。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

請求項3記載の遊技機によれば、請求項2記載の遊技機の奏する効果に加え、特別入賞検出手段により遊技媒体の特別入賞が検出されると、払出指示手段は、その検出された特別入賞に応じた数の遊技媒体の払い出しをコマンドによって指示する。また、所定の遊技価値が付与されると、遊技状態情報送信手段は、その期間中、遊技状態情報を周辺制御手段へ送信する。コマンド判定手段は、コマンド受信手段により受信したコマンド、即ち、払出指示手段により指示されたコマンドと、遊技状態受信手段により受信された遊技状態情報、即ち、遊技状態情報送信手段により送信された遊技状態情報が示す遊技状態に基づいて、そのコマンドが所定の遊技価値が付与された遊技状態の下で設定されたかを判定する。そして、コマンド判定手段によって、払出指示手段により指示されたコマンドが、所定の遊技価値が付与されない遊技状態の下で設定されたと判定された場合には、払出禁止手段は、払出実行手段による遊技媒体の払い出しを禁止する。よって、払出指示手段から指示されるコマンドが所定の遊技価値が付与されていない遊技状態の下で設定された場合には、このコマンドに基づいて遊技媒体が払い出されることを防止することができるという効果がある。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

しかし、本発明によれば、払出指示手段から指示されるコマンドが所定の遊技価値が付与されていない遊技状態の下で設定されたと、コマンド判定手段により判定された場合には、特別入賞検出手段により遊技媒体の特別入賞が検出されたとしても遊技媒体を払い出さないので、所定の遊技価値が付与されていない遊技状態の下では、払出実行手段に一度に最大数ずつ遊技媒体を払い出させることが不可能となる。よって、所定の遊技価値が付

与されていない遊技状態の下で、不正行為によって遊技媒体が払い出されたとしても、払い出実行手段により一度に払い出される遊技媒体の数を最大値未満とすることで、不正行為による被害を低減することができるという効果がある。

請求項 4 記載の遊技機によれば、請求項 1 から 3 のいずれかに記載の遊技機の奏する効果に加え、コマンド判定手段によって、コマンド受信手段により受信したコマンドが異常な遊技状態の下で設定されたと判定された場合には、無効化手段は、そのコマンドを無効化する。よって、異常な遊技状態の下で設定されたコマンドを排除して、正常な遊技状態の下で設定されたコマンドだけを有効なコマンドとして使用し、周辺制御手段の制御を正常に行わせることができるという効果がある。